



新成人として 感謝を胸に 未来へ向かって



1月7日、市民館で、平成29年成人式が行われました。晴れて成人式を迎えた市の新成人は275人。式典では、中垣 将馬さんと川本 葵さんが新成人代表として、「これから、今まで自分を支えてくれた家族、友達、先生方、地域の方々に感謝をするともに、自分も誰かの支えとなり、助けていけるような社会人となるよう日々精進することをここに誓います。」と、誓いの言葉を述べました。

式典後のアトラクションでは、成人式実行委員会が企画した、学生時代の先生からのビデオレター、家族や先生への感謝の言葉が披露され、会場は感動に包まれました。

成人式を終えて～成人式実行委員会～



堀信陽菜、桜吹雪、前川綾香、益田菜都音、井上萌々花、友次稜生、吉田到偉、片山拓海、岡野勉治 [欠席] (敬称略・順不同)

私たちは、1月7日に市民館で行われた成人式を企画した実行委員9人です。「人生でたった一度しかない成人式を新成人だけでなく、保護者や先生、みんなの心に残るものにしたかった」とその思いで話し合いを重ねてきました。

1. 「ビデオレター」
学校の担任の先生をはじめ、お世話になった先生からビデオレターをいただき、今日まで多くの人の支えがあったことを実感し、これからの人生を歩んでいく私たちの大きな励みになりました。

2. 「晴れ言葉」
4人の新成人が、サプライズで親や恩師への感謝の気持ちを手紙で伝えました。(一部抜粋してご紹介します。)

〔栄谷 涼二さん〕



「お父さん、お母さん、出会ってくれてありがとうございます。結婚してくれてありがとうございます。産んでくれてありがとうございます。育ててくれてありがとうございます。感謝しきれないぐらいの愛を注いでもらい、今日この日の成人式を迎えることができました。これから私は、愛する人ができ、結婚し、子どもができて、新しい家族とともに過ごしていくことになると思いますが、お父さんお母さんに教えてもらったことを子どもにも教えていきたいと思っています。」

〔野戸 清彦さん〕



「お父さん、お母さん、いままで本当にありがとうございます。生まれてから迷惑ばかりかけて、ごめんさい。いろいろなことがあったね。転んだら必ず起こしてくれたこと。泣いたら必ずそばにいてくれたこと。ダメなときは、ちゃんと叱ってくれたこと。ずっと後ろで見守ってくれたこと。成功したとき、ほめてくれたこと。失敗しても笑ってくれたこと。いつもおかえりと言ってくれたこと。本当にありがとうございます。」

〔木原 万悠子さん〕



「いつも何気なく過ごしていた生活のなかには、大きな親の優しさがあ

りました。これから年を重ねて、私の考え方も、いろいろな事が変わるでしょう。でも、お父さん、お母さん、変わらないでください。いつまでも見守っていてください。成人しても、どんなに年を取っても、私は子どものままです。あなたたちの子どもです。20年大切に育ててくれてありがとうございます。これからも、よろしくね。」

〔小田原 健斗さん〕



「社会人2年目で、毎回言われるのが、『怒られるうちが華やぞ』。怒ってもらえるだけ自分のことを思ってくれているのだとようやく分かってきました。怒られて面倒くさいなど当時は思っていたのですが、今となっては凄くありがたいことだと思っています。こんな考えを持つことが出来るようになったのも諦めずに叱り続けてくださった先生のおかげだなと思っています。最後になりますが、このスピーチで僕の成長を感じ取って貰えれば嬉しいです。」

この他、実行委員会ではプログラムや案内状、当日のロビーの飾り付けなどを準備しました。私たちの思いが詰まった素敵な成人式になったと、達成感を感じています。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

災害のない 安全・安心なまちを目指して

1月8日、バンブー公園体育館で、消防出初式が行われました。あいにくの雨模様で式典のみの開催となりましたが、消防活動に貢献した団員への感謝状及び表彰状の授与や消防団長による訓示などが行われ、参加者の士気、防災意識を高めました。



在宅医療 老後をどう過ごすか

1月15日、グリーンスカイホテル竹原で、地域包括ケア推進講演会が開催されました。在宅医療について、医師や歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャーなど、それぞれの立場から話があり、参加者からは「安心して在宅医療を受けられる」といった感想が寄せられました。



防災のことをもっと身近に

1月19日、竹原消防署で、地域子育て支援センター「ゆりかご」が主催の「楽しく学ぼう 防災について!!」をテーマに子育てアドバイスが行われました。

参加した親子30人は、防災のビデオを視聴後、救急車やはしご車の説明を聞きながら車両見学をしたり、乗車体験をしました。子どもたちは運転席に座ってハンドルを握ったり、はしご車に乗ったり、間近で見るかっこいい乗り物に大はしゃぎしていました。

オレンジリボンで児童虐待のない社会の実現を

1月18日、市役所で、児童虐待防止活動に取り組んでいる広島のご当地ヒーロー「安芸戦士メープルカイザー」から、児童虐待防止の啓発活動としてオレンジリボンをかたどったプレートが贈呈されました。また、竹原西保育所の児童とのふれあいを通して児童虐待防止を呼びかけました。



自分の命、地域は自分たちで守って

1月20日、荘野小学校で、広島県自主防災アドバイザーの横山ゆかりさんによる防災講演会「子育て世帯被災者からみた防災」が行われました。広島豪雨災害で被災した体験談や写真を使った内容で、子どもにもわかりやすく自主防災について説明され、参加者もリアルな話にじっと聞き入っていました。



ちびっ子大工さんがお手伝い!!

1月21日、町並み保存地区で、たけはら歴史体験講座が開催されました。保存地区内の土蔵の修理を体験してもらう、という初めての試みで、14人の小学生がちびっ子大工さんとして参加。参加した児童は、屋根から取り外した瓦を叩いて再利用できるか点検したり、ヒノキのカンナがけ体験など、瓦職人さんや大工さんの匠の技のすごさを目の当たりにしていました。